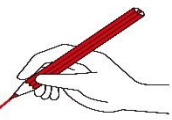


Move Mountains

5年生通信

4月12日5号



○「先生、会社作ってもいいですか」

最初は、何が始まるのかと思いましたが、学級の文化をよりよくなる会社活動ですね。大大大歓迎です。こうした提案をもってきてくれたことがまず何よりも嬉しかったです。すごく主体性を感じます。

「まんじゅうカンパニー」からさっそく「社員募集」のチラシと第1号の新聞が投稿されました。



他にはどんな会社が考えられるでしょうか。

みなさんのエネルギーがあれば、ものすごくおもしろいことができます。大半の時間をこの26人で過ごすんです。

「袖振り合うも他生の縁」と言います。見知らぬすれ違った人と、服の袖が触れ合うだけでも『他生の縁』です。『多少』ではありません。前世からの何かしらの繋がり、とも言えます。

これだけ同じ時間を共に過ごし、同じものを見て、聞いて、活動して。

きっと、すごい縁でこうして集まったのです。みんなで楽しい時間、空間にしていきませんか。

○「静か」とは

身体測定に向かうにあたって「静か」にすることについて話しました。静かというのは、曖昧です。

- ・図書館での静か…基本的におしゃべり禁止。本のページをめくる音くらいは聞こえるでしょう。
- ・クラシックコンサートでの静か…音は全く立てない。舞台に立つ友人に聞いたところパンフレットのページをめくる音さえ、服の擦れる音さえ演者にとっては迷惑。
- ・電車での静か…他の人の迷惑にならない程度のボリュームで話すことは許されるでしょう。
- ・映画館での静か…おしゃべり禁止。場面によってポップコーンをかじる音に気を使うことがあるでしょう。

このように、場面によって「静か」は変わるわけです。

では、身体測定では、どうしたらいいか聞いたところ「黙る」と言った子がいました。

「黙る」くらいにまで具体的な行動が示されれば全員が同じ行動ができます。

聴力検査があります。ここでの「静か」は「黙る」で間違っていないと思います。

だから初日に「きれい」も定義したわけです。「テーブルの上をきれいにします」と言ったら「何も載せていない状態にする」と。

どんな時でも曖昧な言葉を厳密に定義するくせをつけておくことは、学問の道を進むときにも重要です。

身体測定の後、養護の先生が教室へ来てくれました。

「ちょっといい？」

何事かと思えば

「1～4年生の身体測定を見てきたけど、さすが！5年生が圧倒的に静かに、礼儀正しく待っていました！」と伝えに来てくれたのです。

これからもこうした姿を期待しています。